

わかやま 県議会 だより

2月定例会号

No.44 平成31年【2019】
4月20日発行(年4回発行)

主な記事

2～3面 平成31年2月定例会の概要
4面 議会活動の紹介
県議会からのお知らせ

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

「図書カード」を10名様にプレゼント!!

Q 県では、〇〇〇〇〇の丘資料館を考古博物館に再編するための取り組みを進めています。

〇〇〇〇〇に入る文字は何でしょう。

ヒント☞: 紙面をよく読んでね!!

応募方法: 4面(インフォメーション)をご覧ください。



県議会のあゆみ

第18期(平成27年4月～平成31年4月)



平成27年4月30日 第18期県議会議員任期開始



平成28年3月7日
がん対策推進に係る県民との意見交換会



平成28年6月2日
旧県議会議事堂で平成28年6月定例会開催



平成28年2月8日
「大使観光フォーラム」in白浜



平成29年5月18日
高校生との意見交換会



平成29年7月28日
第11回紀伊半島三県議会交流会議(那智勝浦町)



平成29年8月30日
近畿2府8県議会議長会議(白浜町)

平成29年12月19日 議員提案による和歌山県手話言語条例制定

平成31年4月29日 第18期県議会議員任期満了

第18期県議会議員の任期の4年間に
(平成27年5月臨時会から平成31年2月定例会まで)
本会議で審議された議案等の件数一覧

	知事提出					議員提出 議案	意見書 ・決議	請願
	予算案件	条例案件	その他案件	専決処分報告	諮問			
平成27年度	35	83	147	2	0	0	23	4
平成28年度	35	75	95	1	1	0	34	0
平成29年度	37	60	67	6	0	1	15	2
平成30年度	41	69	79	4	1	1	29	1
合計	148	287	388	13	2	2	101	7

和歌山県の4年間を振り返って

平成27年7月12日 紀勢自動車道(南紀田辺IC～南紀白浜IC)供用開始
平成27年8月30日 紀勢自動車道(南紀白浜IC～すさみ南IC)供用開始
平成27年9月13日 那智勝浦新宮道路(那智勝浦IC～市屋)供用開始

平成27年
9月26日～10月6日
紀の国わかやま国体

平成27年
10月24日～10月26日
紀の国わかやま大会



平成27年12月15日
「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に認定



平成29年3月18日
京奈和自動車道
県内全線供用開始
平成29年4月1日
第二阪和国道全線供用開始



平成31年3月10日
和歌山南スマートインターチェンジ開通

2月定例会の概要

会期 2月13日から3月6日までの22日間

質問議員
17人

2月20日(水)

坂本 登
中本 浩精

2月21日(木)

花田 健吉
多田 純一
奥村 規子
菅原 博之

2月22日(金)

立谷 誠一
浦口 高典
川畑 哲哉

2月25日(月)

玉木 久登
藤本 眞利子
雑賀 光夫
濱口 太史

2月26日(火)

山本 茂博
谷口 和樹
中西 峰雄
前芝 雅嗣

会期中の主な動き

特別委員会の開催

- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会 …… 2月26日
- 予算特別委員会 …… 2月27日

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件 (知事提出)	33件	平成31年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件 (知事提出)	50件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例等	可決
人事案件 (//)	1件	和歌山県教育委員会の教育長の任命につき同意を求めるについて	同意
その他案件 (議員提出)	1件	和歌山県議会会議規則の一部を改正する規則	可決
その他案件 (知事提出)	21件	平成31年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
請願	1件	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択
意見書・決議	6件	賀詞	可決
		食品ロス削減に向けてのさらなる取組を求める意見書	
		妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書	
		農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書	
		UR賃貸住宅ストックの活用を求める意見書	
		幼児教育・保育の無償化の安定した運用を求める意見書	

天皇陛下の御即位30年に 慶祝の意を表し、賀詞の奉呈を決議

賀詞

天皇陛下におかせられましたは御即位三十年をお迎えになられましたことは和歌山県民ひとしく慶賀にたえないところでありますここに和歌山県議会は和歌山県民を代表して天皇皇后両陛下の益々の御健勝と皇室の弥栄をお祈りするとともに謹んでお祝いを申し上げます

平成三十一年三月六日 和歌山県議会

水産物の高付加価値化

問 生産者や県内の各種研究機関等が連携し、水産物由来の機能性に着目した高付加価値化を行ってはどうか。

答 様々な機能性成分を有する水産物や水産加工品の付加価値を高める取組は、重要であると認識しています。専門的知見を持つ県立医科大学などと連携し、また、県の試験研究機関の設備や機能を活用して、本県で水揚げが多い魚類や海藻類に含まれる機能性成分の研究を行うとともに、未利用資源の活用についても取り組んでいきます。

本県教育の方向性

問 第3期和歌山県教育振興基本計画が平成30年度スタートしたが、本県教育が進むべき方向性はどうか。

答 教育振興基本計画を着実に実現し、特に学校教育では、「知・徳・体」を基盤とした人間としての総合力の育成をめざしています。全ての人の「和」の力が結集したとき、本県の教育はよりよいものになると確信を持って取り組んでいます。

内水面漁業振興計画の策定

問 国は、平成26年に内水面漁業振興法を制定した。

県では法の規定する計画が策定されていないが今後どうするのか。

答 法律では、都道府県は内水面漁業振興計画の策定に努めることになっており、既に14県で策定されています。本県においても今後速やかな計画の策定に向け、取り組んでいきます。



「内水面漁業」…河川・湖沼における漁業、養殖業

児童虐待問題

問 児童相談所への児童福祉司などの人員配置や、県内市町村との連携は、どうなっているのか。

答 平成26年度から30年度までの5年間で、家庭支援などで中核的役割を果たす児童福祉司4名を含む、相談員業務担当職員7名と常勤弁護士1名の計8名の増員を行いました。また、市町村職員に対しては、虐待の兆候を決定して見逃さず、早期発見に確実につなぐことのできるノウハウや児童相談業務に必要な支援会議の運営方法を学ぶための研修を行い、知識・技術の向上や均質化に努めています。

性同一性障害

問 性同一性障害の児童生徒に対してどのような配慮や対策が行われているのか。

答 平成27年に文部科学省から「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」の通知が出されています。県教育委員会では、県内全ての学校に対し、その趣旨を周知するとともに、児童生徒の心情等に配慮しながら個々の状況に応じて対応するよう指導しました。各学校においては、児童生徒や保護者と相談しながら、制服やトイレ、更衣室の利用等、学校生活の各場面それぞれに児童生徒に合った配慮を行っています。



暫定2車線の高速道路の安全対策

問 暫定2車線区間の対向車線へのはみ出し事故防止策はどうなっているのか。

答 京奈和自動車道など県内の暫定2車線区間は、大部分がラバーポールにより車線を区分する構造となっており、面交通による重大事故の発生につながる懸念があるため、昨年5月、国に対し、車線逸脱防止機能を有するワイヤーロープの設置を要望し、昨年6月には、国から「暫定2車線の高速道路のワイヤーロープ設置方針について」の発表がありました。そして、本年1月の「平成31年度予算概要」には、高速道路の安全性等を向上させるため、ワイヤーロープを緊急対策として実施すると明記されています。県では、引き続き事故防止対策としてワイヤーロープの早期設置を働きかけていきます。

南紀白浜空港の民営化

問 民営化に向けた現状と今後の取組はどうか。

答 本年4月1日から運営を行う(株)南紀白浜エアポートでは、羽田線の機材の大型化、成田線の新規就航、チャーター便誘致などの取組が行われる予定です。県では、既に新国際線ターミナルビル設計に着手しており、2021年6月までの完成を目標に整備を進めていきます。

企業誘致と紀州材の利用促進

問 事務所等に紀州材を利用する県内進出企業に対し、奨励金制度の導入を検討してはどうか。

答 企業誘致に係る奨励金制度は、企業ニーズに対応しており、紀州材を利用した場合も交付の対象となっております。本県に進出する企業に対し、強度や色合いに優れた紀州材の素晴らしさをPRし、需要拡大につながるよう取り組んでいきます。

放射性廃棄物処分場

問 原子力発電所の使用済み核燃料を再処理した際に出る高レベル放射性廃棄物いわゆる「核のごみ」処分の問題で、平成29年9月議会において、知事から「県内での調査を受け入れる考えはない」との答弁があったが、現在でも、考えに変わりはないのか。

答 本県は、巨大地震や津波の被害のおそれがあり、山間部にも結構人が住んでいるので、最終処分場や中間貯蔵地として最もふさわしくない場所ということ、理論的に明らかであり、調査を受け入れる考えはありません。

考古博物館建設計画

問 紀伊風土記の丘資料館を考古博物館に再編するための取組はどうか。

答 紀伊風土記の丘は、開館以来、約50年経過し、施設の老朽化や収蔵スペース不足などの課題を抱えています。このため、紀伊風土記の丘資料館を再編し、古墳文化や考古学、民俗学の研究拠点として展示や保存、研究の各機能を有する考古学民俗博物館に整備することとしており、平成31年度当初予算には、建設用地の取得経費を計上しています。

日本一の果樹産地づくり事業

問 産地と苗木組合との連携について県の役割はどうか。

答 県では、平成31年度、戦略品種推進協議会を新たに設置し、苗木組合と産地側の調整を行い、苗木の安定供給を図っていきたくと考えています。マーケットや苗木組合等と連携を密にしなが、戦略品種の早期産地化等を通じ、農家の所得向上に努めていきます。

スマホ依存

問 スマホ依存から児童生徒を守るための取組についてどうか。

答 スマホ依存の内容や予防策等を示した児童生徒及び保護者向けのリーフレットを作成し、学校と家庭が協力して指導できるようにしていきます。また、ネット依存度をはかるチェックシートを作成し、各学校における児童生徒の個別指導に生かします。



県都和歌山市の人口減少

問 県都和歌山市の人口減少に対する現状認識と今後の取組はどうか。

答 自然増減に関しては、2017年では1732人のマイナスとなっています。また、社会増減に関しては、1987年の2501人をピークとして転出超過数は縮減し、2017年では322人の超過となっています。人口減少に歯止めをかけていくため、長期的視点に立ち、自然減と社会減の両面から戦略的に施策を展開していきます。

和歌山市和泉山脈のメガソーラー計画

問 和歌山県太陽光発電事業の実施に関する条例において、事業計画に対する住民の意見はどのように取り扱われるのか。また、調査審議会はどのような専門家で構成され、どのような場合に意見を求めるのか。

答 意見書の提出があった場合、発電事業者に対し見解を求め、それらを踏まえ、事業計画が認定基準に適合しているかを科学的に審査します。調査審議会は、防災、安全、環境、景観分野の専門家によって、環境保全上や災害発生防止上の見地から、必要な場合に意見を求めることとしています。

災害への備え

問 災害時に高齢者が徒歩で避難できる身近な施設を増やすべきと考えるがどうか。

答 県では、平成23年の紀伊半島大水害の教訓を踏まえ、安全レベルを設定するなど避難場所の見直しを行い、また、市町村に対してはより多くの避難場所を確保するよう働きかけています。現在、県内では学校や公民館などの公共施設を中心に約1500カ所の避難場所が指定されています。県としては、引き続き避難場所の確保について働きかけていきます。

婚活支援事業の充実

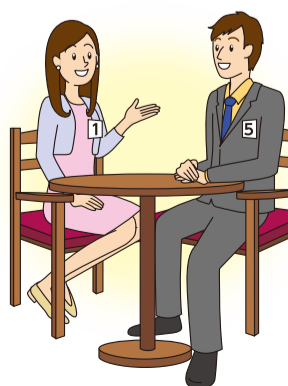
問 婚活の支援には丁寧かつ大胆な「おせっかい」を行うことが重要であるが、事業充実への取組はどうか。

答 県の婚活イベント参加者には、事前に結婚カウンセラーによるコミュニケーション研修の受講を必須とする試みや、イベントでの結婚サポーターによる会話のきっかけづくりなど、カップリングへの後押しを行っています。婚活イベントを効果的な出会いの場とするため、参加者自身が積極的に行動できるように、引き続き意識啓発に取り組んでいきます。

一時保護所の人員

問 一時保護所の絶対的な人員不足、特に夜間について、認識と改善はどうか。

答 夜間は、児童指導員と宿直業務員の各1名が、幼児の食事介助や情緒不安定児への添い寝などの生活支援を行っています。県としては、宿直業務員の充実など、適切な人員配置を図っていきます。



「一時保護所」…児童相談所に附設し、保護が必要な児童を一時的に保護する施設

予算特別委員会

予算特別委員会では、知事から提案された当初予算について集中審議しました。主な質問は次のとおりです。

2月27日(水) 質問委員(4人)

長坂 隆司・岩田 弘彦・岩井 弘次・吉井 和規

和歌山市周辺の県道路啓開計画について

問 南海トラフ地震に伴う津波浸水に関する道路啓開計画については、その重要性に鑑み、和歌山県道路啓開協議会において策定しました。計画では、優先的に啓開すべきルートの選定や、区間毎の建設業者の割付けを行い、啓開時の情報収集や連絡体制について指示連絡系統の一本化を図りました。インターチェンジや道路の供用を踏まえ、ルート変更や県外からの受援計画の検討など、今後とも早期の人命救助活動に貢献できるように取り組んでいきます。

国制度の幼児教育無償化と新年度の本県の取組について

問 県では、市町村の実施を前提に、平成20年度から第3子以降の保育料無償化を実施し、平成28年度には対象とする年齢・施設を拡充しました。平成31年度からは、所得制限はありませんが、対象を第2子まで拡充し、また、県が事業主体となり、在宅で育児する世帯も新たに支援の対象にします。国では、ようやく今年の10月から保育料等無償

化制度が開始されますが、0歳から2歳までは市町村民税非課税世帯のみを対象としていることから、国の責任で全ての就学前児童を対象に無償にすべきと考えます。

ICT企業誘致推進について

問 県では、ICT企業の誘致を進めており、紀南地域を中心にICT企業の集積が進んでいます。白浜町では、進出企業により顔認証による宿泊チェックインや商業施設でのキャッシュレスなどの実証実験のほか、ワーケーションの受入れなども行われており、全国的に注目されています。しかし、白浜町に2棟あるオフィスが満室であるなど、ICTオフィスが不足しています。首都圏でのフォーラムの開催や企業訪問などにより誘致を図るとともに、民間資金を活用したICTオフィスの整備を計画しています。

自衛官の募集における自治体の協力について

問 県内市町村における自衛官募集に関する名簿提供等の状況は、住民基本台帳を基に作成された名簿を紙で提供している団体が9、閲覧させている団体が21あり、閲覧させている団体の大多数は、自衛隊から提供の要請があれば変更を検討することです。自衛隊は災害現場での救助や復旧の活動だけでなく、我が国の防衛を担っており、我が国が平和に暮らせるのも自衛隊のおかげです。自衛隊の人材確保は重要であり、県内市町村に対して、自衛隊から要請があった場合の名簿の提供について強く働きかけていきます。

議会活動の紹介 Topics

関西広域連合議会3月定例会

3月2日(土)、関西広域連合議会3月定例会がリーガロイヤルNCB(大阪市)で開催され、本県議会からは、濱口太史議員、谷口和樹議員、菅原博之議員が出席しました。

本会議では、濱口太史議員が「災害時における広域的な透析医療体制」、「ジオパークの認知度向上、周遊性促進の取組」、「観光資源の実際の魅力を知る人材の育成」について質問しました。透析医療に関しては、「近い将来発生が懸念される南海トラフ地震では、ライフラインの寸断により治療が困難となる透析難民が多数発生することが想定される。透析難民の受入先確保のため、府県内外の施設、行政、日本透析医会などの広域かつ迅速な連携が不可欠であり、和歌山県では平成31年度から広域災害救急医療情報システムを活用して、患者の受入状況や人工透析の可否などの病院情報をインターネット上で公開する全国初の取組を予定している。広域連合では、まず広域的

に病院機能の見える化の取組などを行ってはどうか。さらに広域的な停電等を前提として、府県を越えた透析医療の提供体制構築を進めてはどうか」といただきました。

本質問に対し、海野副委員(徳島県副知事)から、「日本透析医会のシステムでは、災害時、透析医療機関の個別情報がインターネット上で誰でも閲覧でき、患者の皆様にはこれを周知したいと考えています。また、南海トラフ巨大地震では、広域連合管内が広く被災することが想定され、このため有効となる患者の広域移送の実施には、日本透析医会との緊密な連携による訓練を通じた対応手順の検証と、関係機関との顔の見える関係づくりが重要です。昨年8月の徳島県での大規模地震時・医療活動訓練では、各府県バス協会との協定に基づき、県外からバスを確保し、患者を被災地外へ搬送する手順を確認しました。今後も、構成団体・透析医会との情報共有や連携強化を図り、より効果的な医療提供体制のあり方の検討を進めていきます」との答弁がありました。



濱口 太史 議員

県議会からのお知らせ

Information

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ/テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定)

開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送
(6月定例会の放送日は未定)

県議会手話だより(予定)

閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送
(6月定例会の放送日は未定)

ラジオ/和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定)

開会、質問、閉会日の21時30分から15~30分間放送
(6月定例会の放送日は未定)

県議会ホームページ

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/>

和歌山県議会

- ◆ 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- ◆ 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

「点字版・CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。詳しくは県議会事務局まで。

クイズ&プレゼント

ハガキへ、①クイズの答え(〇〇〇〇〇の丘)、②〒住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥「わかやま県議会だより」のご感想を記入のうえ、**5月17日(金)(消印有効)**までにご応募ください。

応募方法

傍聴してみませんか

- ◆ 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- ◆ 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

令和元年5月臨時会 会期日程(予定)

5月16日(木)・17日(金)・20日(月)・21日(火)

※手話通訳者・要約筆者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〒640-8585(住所不要)

県議会事務局「クイズ&プレゼント係」

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
※皆様の個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

応募先